

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2019
September
No.1091 **9**月

表紙

第41回子ども七夕まつり
認定こども園ほんべつの子供たち



Pick up

- ✿ ゴミの分別方法のおしらせ
- ✿ 本別・南三陸町ふるさと交流研修会に行ってきました
- ✿ 夏のイベントが満載！
- ✿ 本別高校を応援する集いが開かれました

薬の包装（PTP包装）の分別



包装の裏面を確認し、プラスチックマーク（♻️）が付いていればプラスチック製容器包装、なければ燃やさないごみに分別してください。

断熱材の分別



断熱材は発砲スチロールとは違いますので、燃やさないごみとして分別してください。発砲スチロールはプラスチック製容器包装に分別してください。

小型充電式電池の回収を行います

有害ごみの小型充電式電池などは、なるべく販売店などに引き取ってもらうようにお知らせしておりますが、町内の店舗では引き取り可能な店舗が少ないため、役場でも回収しています。

この電池は、カメラやノートパソコン、モバイルバッテリー、電動工具などに使用され、ニッケルやカドミウム、コバルトなどの希少金属が含まれており、貴重な資源です。リサイクル促進のためにご協力をお願いします。

● 回収対象商品

以下のマークが付いている物が、回収対象商品です。



Ni-MH Ni-Cd Li-ion

〈注意〉

- ・上記マークの付いていないものは回収できません
- ・解体したものなどの回収はできません
- ・破損しているものは回収できません
- ・水に濡れたものは回収できません

回収場所

役場住民課4番窓口（1階）に回収ボックス（リサイクルBOX）を設置していますので、窓口担当者へお渡しください



モバイルバッテリーの見本



役場設置のリサイクルBOX

4月に分別方法が変わってから半年が経過し、町民の皆さんには、ごみの分別方法についてご理解をいただきながらごみの収集業務を行ってきています。分別の間違いについても、当初から比べると少なくなってきたいますが、分別の分かりづらい品目などについては混ざって出されている事例があります。今回は、分別間違いで出されていることの多い、プラスチック製品の分別事例や小型充電式電池の処理方法についてお知らせします。



プラスチック製品の燃やさないごみとして出す事例

★これらは、すべて「燃やさないごみ（緑色の袋）」に入れて出してください

① シップのフィルム



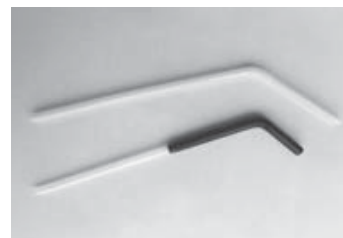
※外袋に書かれているマークは、フィルムの分別方法ではありません

② ハンガー



※掛ける部分だけが金属のものも「燃やさないごみ」で出してください

③ ストロー



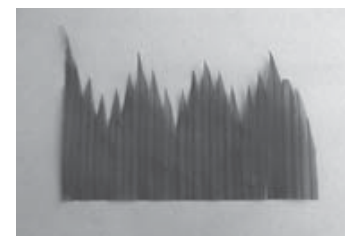
④ ひも・PPバンド（包装バンド）



⑤ フリーザーバッグ



⑥ バラン（弁当の仕切り材）



ごみ分別方法のお知らせ

問い合わせ

住民課 環境生活担当 ☎ 22-8128

引率者より

派遣者9人全員が無事に研修を終え、元気に本別町へ戻ることができました。これも、本研修会を支えてくださった南三陸町教育委員会、志津川自然の家、そして企画や当日の進行してくれるジュニアリーダーの皆さんののおかげだと思っています。本当にありがとうございました。今回、2度目の引率、4回目の宮城県南三陸町の訪問となりました。表敬訪問の際、南三陸町佐藤仁町長にもお話ししましたが、自分が経験してきたジュニアリーダー活動に卒業生の立場ではなく“引率”として携わり、目の前で子供たちの成長を見られることを大変うれしく思うと同時に“経験者”であることのプレッシャーも少し感じます。プレッシャーに負けず、自分らしく本別町の子供たちにジュニアリーダー活動の楽しさや達成感を伝えていきたいです。

震災で途切れてしまいかと思ったこの交流研修会は、無事に35回目を迎えることができ、今年も友情の灯火を繋ぐことが出来ました。子どもにより年々活動が厳しくなっていますが、子供たちの持ち前の明るさと元気な力でこれからも活動を頑張っていきたいと思います。

教育委員会 社会教育課 社会教育主事 竹下 春菜



おもち 南部 弘輝さん
本別中学校1年



いん 真 鍋里 緒さん
本別中学校1年



ゆゆ 川口 結衣さん
本別中学校2年



ねく 松本 幸晟さん
本別中学校1年



よつば 山下 龍星さん
本別中学校2年



まわ 松嶋 玲花さん
本別中学校2年



両町のジュニアリーダー団体
HVCかめ…本別ボランティアクラブかめ
MVCぶらんこ…南三陸ボランティアサークルぶらんこ

第35年次

ジュニアリーダー初級研修会 兼 本別・南三陸ふるさと交流研修会



2019年7月29日～8月3日

本別町と宮城県南三陸町の高生の協力により実施する「ジュニアリーダー初級研修会兼本別・南三陸ふるさと交流研修会」を7月29日から8月3日の6日間、本町の中高校生9人が参加し、南三陸町で行いました。この研修会は、先輩たちが灯し続けてきた友情の火を引き継ぎ、今年で35回目、大人と子どもの橋渡し役や、さまざまな場面でレクチャー・エージェンシーなどを行うジュニアリーダー（JL）としてはじめの一步を踏み出すための研修会です。参加した本町の中学1・2年生たちは、研修終了後にジュニアリーダー初級認定資格を受けます。



サブリダー
小林 開さん
本別高校3年



サブリダー
東山 彩香さん
本別高校1年



サブリダー
石上 晃聖さん
足寄高校1年

研修生の一人ひとりに言



皆の成長を感じることができ、これからも互いに成長できる研修を続けていきたいです。

皆で情報を共有する大切さを改めて学び、今後の活動で心掛けていきたいです。

指示を的確に出すためには、日程の把握と連絡を密にすることです。その重要性を改めて学びました。

研修日程

7月29日(月)
中央公民館出発
・苦小牧港発(フェリー)

7月30日(火)
仙台港着
・南三陸町役場着
・町内視察研修
・民泊着

7月31日(水)
JL初級研修会(1日目)
・いかだレース
・バナナボート体験



8月2日(金)
JL初級研修会(3日目)
・志津川自然の家出発
・松島町内見学
・仙台市内見学
・仙台港発(フェリー)



8月1日(木)
JL初級研修会(2日目)
・カッター漕艇や
キャンプファイアを体験



8月3日(土)
・苦小牧港着
・中央公民館着

ほんべつ夏祭り・盆踊り&ビンゴゲーム大会

ほんべつ夏祭り事業・盆踊り&ビンゴゲーム大会（実行委員会主催＝岡崎勉実行委員長）が8月14日、役場前駐車場で開かれました。祭りは、子ども盆踊りで開幕し、町内外から訪れた幼児から小学生の約70人が、浴衣や甚平姿でかわいらしい踊りを披露。続いて、一般の盆踊りが行われ、個人や団体が参加した約180人が、浴衣や趣向を凝らした仮装姿でやぐらを囲んで踊りを楽しんだほか、祭りの最後には、踊った人に3万円分の商品券が当たる抽選会や特賞台湾旅行ペア招待券の当たる抽選会、恒例の餅まきなどが行われ、訪れた多くの来場者たちは、短い夏のひとときを満喫しました。



自治会などで参加



子ども盆踊り



町商工会女性部の皆さん



仮装姿の参加者



本別産の肉などが大集合！



羊の丸焼き実演販売



会場の様子



焼き肉を楽しむ家族連れ

第7回ほんべつ肉まつり

第7回ほんべつ肉まつり（実行委員会主催＝小笠原徹実行委員長）が8月18日、本別公園平広場で開催されました。当日は、好天に恵まれ、町内外から友人同士や家族連れなど約1000人が来場し、本別産の美蘭牛やほんべつ和牛肉、太郎豚などの豚肉のほか、本別町近隣で生産された牛や羊、鶏肉などが格安で販売され、好きな肉を買い求めています。会場内に用意された600台の焼き台で焼き、地場産肉の味を堪能しました。その他会場では、お肉の当たるガチャボンや羊の丸焼き実演販売、ステージ上では、スペシャルライブステージや特賞約3キロのプロック肉のステーキが当たる抽選会なども行われ、来場者たちは、おいしい肉を味わいながら楽しい1日を過ごしました。

本別恒例の夏のイベントが満載！

今年も、7月下旬から8月下旬にかけて、たくさんの夏のイベントが開催されました。各会場とも、飲食ブースや趣向を凝らした多彩な催しが行われ、大人から子どもまでが夏の楽しいひとときを満喫しました。

十勝ほんべつひまわり迷路2019

令和と描かれたひまわり迷路の全景



十勝ほんべつひまわり迷路2019（実行委員会主催＝前田茂雄実行委員長）が7月20日から28日の9日間、本別大橋南側前田農産食品ひまわり畑で開催されました。本別町での迷路は土づくり地域づくりを目的に、昭和63年にスタートした「とうもろこし三万坪迷路」から「ひまわり三千坪迷路」と引き継がれ、令和元年度の今年、新たな夏の風物詩「十勝ほんべつひまわり迷路」として復活しました。会場に訪れた来場者たちは、ひまわり畑に作られた総延長約2キロの巨大迷路のスタンプラリーに挑戦したほか、期間中は、夜の迷路からゾンビが現れる「ゾンビNIGHT」や町内の小中高校吹奏楽部による「ひまわり音楽フェスティバル」などが行われ、町内外から訪れた多くの人たちが初夏のイベントを満喫しました。



ゾンビNIGHT



ひまわり音楽フェスティバル



胆振グルメのホッキ焼き



HIPHOPダンス



会場に詰め掛けた来場者



仲間同士で乾杯！

第34回チャリティー樽生ビール（本別町商工会青年部主催＝佐藤隆史部長）が7月27日、役場前駐車場で開催されました。来場者たちは、ビールやチューハイなどの飲み物を片手に、焼き鳥やから揚げなどの食べ物のほか、今年は、胆振東部地震の被災地を応援しようとして、被害の大きかった安平町・厚真町・むかわ町の商工会青年部の全面協力のもと、焼きホッキやしやグルメなどが販売され、胆振グルメを堪能しました。ステージ上では、本別ジュニアブラスアンサンブルによる吹奏楽演奏や、子供たちによるHIPHOPダンスの披露、北海道出身歌手カラオケ大会が行われ、職場仲間や友人たちと大いに盛り上がりました。

第34回チャリティー樽生ビール



セミナーを振り返りグループワーク

本別の「まちを知る！」 「食を知る！」 「福祉を知る！」

全国的に介護福祉士などの介護人材不足が深刻化する中、本町では、介護人材確保策として資格の習得補助や就業支援補助などさまざまな取り組みを行っています。このセミナーは、町内外から介護人材を確保するにあたり、本別というまちの魅力や町内の介護サービス事業所の良さを実際に肌で感じてもらう、本町を就職先の候補として考えてもらう目的に平成28年から実施しています。今年は、町外の介護福祉士養成学校に通う学生など13人が参加。参加者らは、しごと体験交流館を宿泊や研修拠点としながら、3日間の中で町内のデイサービスセンターや町老人ホーム、介護事業所などの7施設で介護実習を行ったほか、町の観光や施設見学、バーベキュー交流やレクリエーションなどを通して、町の魅力や介護職場での人と人とのつながりを体感しました。最終日には、総合ケアセンター介護保険担当職員から、本町の介護人材確保対策にかかる補助制度の説明や、参加者同士のワークショップが行われ、参加者たちからは、「介護・福祉に熱心なまち」「人がやさしくつながりが強い」「食べ物おいしい」などと、本別町への印象について語られました。



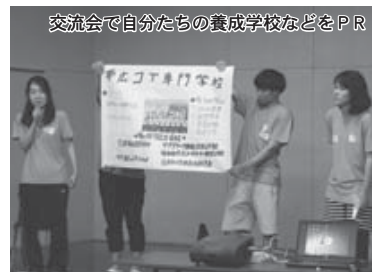
町老人ホームでの実習



デイサービスセンター本別での実習

2019 GO!GO!介護 ほんべつ 体験セミナー

介護サービス事業者連絡会（経堂頭宏会長）が主催する「2019 Go!Go!介護ほんべつ体験セミナー」が8月6日から8月8日の2泊3日、町内の介護事業所などを会場に実施されました。



交流会で自分たちの養成学校などをPR



焼肉交流会



スマートボール



スーパーボールすくい



食のコーナー

第41回 子ども七夕まつり

第41回子ども七夕まつり（子ども七夕まつり実行委員会主催＝久能利幸実行委員長）が8月4日、役場前駐車場で開催され、訪れた多くの家族連れが夏のひとときを楽しみました。

かわいい浴衣姿で 踊りを披露

会場内では、用意された柳の木に子供たちの願い事が書かれた短冊が多数飾られたほか、スーパーボールすくやスマートボールなどのゲームコーナー、焼きそばやフランクフルト、綿あめを提供する食のコーナーなど多彩な催しで子供たちを歓迎。子ども盆踊りでは、かわいい浴衣姿の認定こども園ほんべつや保育所の幼児などが踊りを披露し、その姿をビデオカメラで撮影しようとする父母らでにぎわいました。その他、義経太鼓保存会による迫力ある太鼓の演奏や、祭りの最後には、花火が夏の夜空を飾り、来場者たちの目を楽しませました。

防犯ポスター表彰式

令和元年度の防犯ポスター表彰式が、子ども七夕まつりの開会式で行われました。受賞者は次の通り。

最優秀賞＝上田志保さん（勇足小学校4年）

本別町長賞＝小笠原輝さん（中央小学校3年）

本別警察署長賞＝山田陽菜乃さん（勇足中学校3年）

本別町生活安全推進協議会長賞＝三品桜世さん（本別中学校3年）



本別高校を応援する集い

伝統ある本別高校を本別町民など地域ぐるみで応援しようと、本別高校を応援する集い（町、町教育委員会、本別高校の教育を考える会主催）が8月7日、町内小・中・高校生の保護者や一般町民など約230人が参加し、中央公民館で開催されました。



オープニングセレモニーの吹奏楽演奏

「見て聞いて知って」本別高校を応援

集いでは、オープニングセレモニーとして本別高校吹奏楽部（志賀美枝音部長・部員11人）の演奏で開幕し、高橋正夫町長があいさつで「皆さんで本別高校を応援し、子供たちの未来への希望と地域の文化・歴史をつなげていきたいと思います」と会場に呼び掛けました。続いて、本別高校近藤浩文校長が、同校の進学や就職などに向けた教育活動の取り組みや卒業生の進路状況について説明。保護者代表のPTA佐藤梨恵副会長（浦幌支部）が、学校の特色や魅力、感謝の気持ちが語られたほか、同校生徒会役員から学習活動や学校行事について紹介し、小林開生徒会長が「生徒皆で、もっと魅力のある学校づくりを考えていきます」と宣言しました。集いの最後には、来場者全員で本別高校校歌を斉唱して、本別高校を応援する思いを一つにしました。その他開会後には、同校1年生が授業の総合的探究の時間で研究し考案したカレーの試食会も行われました。



近藤校長から教育活動の説明



PTAの佐藤さんから本高の魅力を紹介



生徒会執行部による学校行事の紹介



参加者全員で本高校歌を斉唱

本高生考案のスパイスから作った「ゴロゴロ元氣くんカレー」を試食



歴史散歩 その4

明治30年から入植者が増え、第一次世界大戦による雑穀景気がきっかけとなり、十勝の経済は飛躍的に発展しました。経済のパロメータである銀行が本別町に進出したのは、今から100年前の大正8年、根室銀行池田支店本別派出所（現・北3丁目マルシメ前田付近）が最初です。それまでは個人金融として無尽（むじん※余談参照）や高利貸し、質屋が利用されていました。

その後、同行の合併により安田銀行本別派出所と改称。同14年安田銀行から北海道銀行に譲渡され、北海道銀行池田支店本別派出所となります。昭和15年に支店に昇格し、北4丁目に移転して営業しました。同19年、合併により北海道拓

殖銀行本別支店となります。

翌年には空襲で店舗を焼失しましたが、仮店舗で営業を続け、同22年、北3丁目交差点に面した木造店舗（写真①）を新築しました。

同36年には、同所にコンクリート造りの店舗（写真②）が新築され、商店街の中心で賑わいを創出することになります。

当時の本町は、人口が約1万8千人、飲食料品小売業や飲食業などの商店が280か所以上、その他サービス業や製造業を含めると事業所は580か所以上もあり、十勝では帯広に次ぐ数

を誇っていました。そして平成9年、「たぐきん」と呼ばれ親しまれた同行は経営破綻しましたが、営業譲渡され、同11年、現在の北洋銀行本別支店として生まれ変わりました。



① 昭和22年新築された北海道拓殖銀行本別支店



② 昭和48年撮影された同支店

余談ですが…

無尽は「頼母子講」ともいい、古くからある民間金融システム。親しい仲間が定期的に集まり掛け金を積み立て、毎回抽選や入札により誰かが受け取る仕組みで、一時的にまとまった金銭を仲間内で融資する相互扶助のためのものです。この仕組みがやがて組合、銀行、保険会社などに発展しました。『本別町史』によると、本町でも商工業者の間で利用され、昭和5～6年に最も流行したとか。現在でも、一部の地方で親睦目的の無尽が残っているようです。

ちょっとCM

帯広百年記念館で特別企画展「十勝開拓日記」開催中～9月23日（月祝）まで

今ある「十勝らしさ」が歴史的にどのように形成されてきたのか、当時の資料で振り返ります。本別町から「東條家文書」や「井出英作日記」も登場！ぜひ足を運んでみてください。

お問い合わせ

歴史民俗資料館 ☎22-2141(内410)
図書館 ☎22-5112



③ 昭和28年支店に昇格した北海道相互銀行本別支店



④ 昭和48年撮影された同支店

一方、「ジーソーぎん」として親しまれていたのが、北海道相互銀行です。同行の進出は昭和26年帯広支店本別会場、北2丁目開設され、同28年に支店に昇格しました（写真③）。同42年に店舗を新築（写真④）。カンガルーのキャラクターが国道沿いで目を引きました。

平成元年、札幌銀行本別支店となりましたが、同20年に合併されて北洋銀行本別中央支店へ。翌年、本別支店に統合され現在は金融機関として個人や企業を支えるだけでなく、地域産業の活力となる存在。開拓時代から人と人とのつながりに働きかけ、移り変わりがらまの元気を応援しているのです。

Information

▼チケット販売所および問い合わせ
町観光協会事務局（役場企画振興課内）
☎2218121

**1回目(SS10) 午前7時12分
2回目(SS14) 午後1時26分**
前売り観戦チケット販売中!!

前売り観戦チケットを、町民向けに販売します。価格は通常2000円のところ1200円です。
※中学生以下は無料（保護者の同伴が必要）
※帯広、音更、足寄、陸別ステージの観戦チケットも取り扱っています

本別林道ステージ大会日程

9月22日(日)

開始予定時間

ラリー北海道

十勝の5市町村で国際ラリー大会「ラリー北海道」が今年も開催されます。本別町内では、上押帯から美蘭別、活込までの町道と林道が複合する延長13・79kmのスペシャル・ステージ(SS)「本別林道ステージ」が設定され、最大800人収容の観戦エリア（美蘭別）も用意されています。ト迫力のラリー走行を間近でご覧ください。

FIAアジア・パシフィックラリー選手権 第7戦
JAF全日本ラリー選手権 第8戦
ジャパンスーパーラリーシリーズ 第4戦



本別ラリーパークへGo!

ラリー北海道の開催に合わせて、道の駅「ステラ★ほんべつ」にラリーパークが開設されます。競技中のラリーカーが立ち寄り、憧れのドライバーに会えるチャンス！レプリカ車両の展示もあります。

とき 9月21日(土)
午前10時～正午ころ

※大会の進行により時間が変更になる場合があります



白糠町からのお知らせ 第27回 カミングパラダイス

遊びにおいでよ…ストリート

白糠最大級のイベント「カミングパラダイス」（通称：カミパラ）が白糠南通り商店街（ハミングロード）を舞台に開催されます。歩行者天国にはさまざまな露店やフリーマーケットが立ち並び、白糠の特産品（海の幸、山の幸）が販売されるほか、大ピンゴ大会やチケット抽選会などの楽しいイベントも盛りだくさんです。ぜひお越しください。

と き 9月7日(土)・8日(日) 雨天決行

と ころ ハミングロード（白糠南通り商店街）※白糠駅前通り

問い合わせ 白糠ふるさと振興協会・カミングパラダイス実行委員会
☎01547-2-2345（白糠町商工会内）



主なイベント(予定)	7日・8日 両日共通	●フードコーナー ●ちびっこ緑日 ●なつかし広場（あめ細工実演販売、紙芝居など） ●ふわふわドーム ●本別町物産コーナー
	9月7日(土) 午後3時～午後5時 ●白糠小学校金管同好会・白糠高校吹奏楽部演奏（午後3時） ●大道芸人ショー（①午後3時45分、②午後6時） ピエロの「テ」のミニサーカス・「宝玉蔵こん太」の曲芸&紙切ショー ●白糠キッズストリートダンス（午後4時30分） ●大ピンゴ大会（午後8時）	9月8日(日) 午前10時～午後3時 ●サイコロDEスタンプ（午前10時） ●野菜の袋詰め（午前10時30分） ●ラーメンすくい（午前11時30分） ●郷土芸能白糠駒踊り（午後12時15分） ●チケット大抽選会（午後2時）

勇足中学校教育目標

(知) 創造性豊かで高い知性を養う
(徳) 豊かな人間性を育てる
(体) 強靱で粘り強い体を鍛える

各学校の手作りページ

HELLO
勇足中学校

勇足中学校（椿原雅章校長・全校生徒24人）では、生徒一人ひとりの瞳が輝き、地域に信頼される学校を目指し、地域・保護者の方々のご協力をいただきながら、小規模校の特性を生かした授業や学校行事等、日々の教育活動に取り組んでいます。



保・小・中・地域一丸で



花壇整備



資料館夜の会による説明



危機対応想定訓練

本別警察署の協力



新体力テスト

勇足小中合同で挑戦



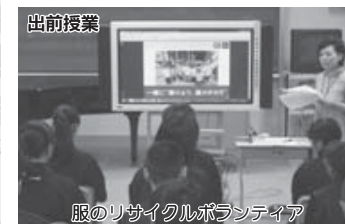
食育

J A勇足美常青年部のご指導で



授業参観

真剣な眼差しの生徒



出前授業

服のリサイクルボランティア

地域とともに歩む学校
みんな笑顔でチャレンジ

婦人ボランティアが 50周年を祝う 7 27

町婦人ボランティアクラブ（衆節子会長）の創立50周年を記念する式典が7月27日、あいの里交流センターで開かれました。同クラブは、昭和44年7月に町内の女性有志約40人で発足以来、町のイベントへの協力や高齢者福祉活動など幅広い分野で活動을 続け、まちづくりに大きく貢献しています。式典では、衆田会長が「活動にあたり、たゆみない努力と研さんを旨に、多くの対話を重ねながら進めてきたことが、今日までの活動の継続、発展につながっています」とあいさつ。同クラブの活動に尽力された功績をたたえ、衆田会長、坂口和美さん、部田敏江さんの3人に感謝状を贈りました。



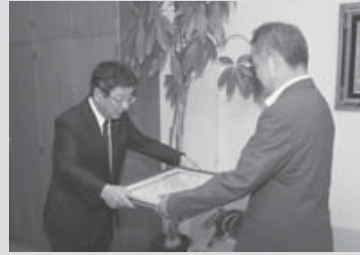
移動講座で料理を学ぶ 7 29・30

勇足、仙美里小学校児童を対象とした夏休み公民館講座「子ども体験教室移動講座」が7月29日、30日の2日間、勇足、仙美里地区公民館でそれぞれ開催されました。講座には、両館合わせて11人の児童が参加。お米を研いだり、野菜を切ったりしてカレーライスやサラダ作りに挑戦しました。初め包丁使いがぎこちなかった子供たちは、調理を進めるにつれて段々うまくなり、皆で協力し料理を完成させました。完成後は、出来上がった料理を参加者全員で会話をしながらおいしく食べました。



南三陸町から感謝状 7 22

平成23年に発生した東日本大震災で被災した南三陸町の佐藤仁町長が7月22日、本町がこれまで行ってきた復興・復旧に対する支援へのお礼の言葉と感謝状の贈呈のため、役場を訪れました。佐藤町長は、「震災以来、本別町や町民の皆さんからの支援物資の提供や復興に向けた町職員の派遣など、多くの支援に感謝します」「南三陸町がここまで復興できたのも皆さんのおかげです」と感謝の意を述べながら、大和田収副町長へ感謝状と記念品を手渡しました。



中学生が全道出場を報告 7 24

十勝の予選や標準記録を突破し、全道中学校体育大会の陸上と水泳競技に出場する本別中学校（寺島康博校長）の生徒5人と勇足中学校（椿原雅章校長）の生徒2人が7月24日、教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長に全道大会出場を報告しました。各選手たちは、「予選を突破したい」「全国大会出場を果たしたい」などと抱負を語り、佐々木教育長は、「目標タイムをクリアし、上位に進出できるよう頑張ってください」と激励しました。



全道大会の結果

入賞は果たせなかったものの、皆さんベストをつくしました。

100歳おめでとございます 町敬老祝い金の贈呈 7 22

野原幸子さん（向陽町）が7月20日に100歳を迎えられ7月22日、町特別養護老人ホームで高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。幸子さんは大正8年に本別町でお生まれになり、25歳で敬清さんと結婚。農業に従事しながら2男1女のお子さんを育て、孫4人、ひ孫2人に恵まれました。幸子さんの趣味はカラオケだそうで、「カラオケ大好き！皆さんありがとう！」と100歳の喜びを語りました。



空手全国出場を報告 7 22

北海道の予選を勝ち抜き8月3日、4日に行われる第19回全日本少年少女空手選手権大会に出場する、本別空手道連盟の山下仁来さん（中央小4年）と北原七楓さん（同1年）が7月22日、教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長に全国大会出場を報告しました。山下さんは「この大会には昨年も出場したが、今年はベスト8に残りたい」、北原さんは「全国大会でも頑張ります」と抱負を語り、佐々木教育長は「日ごろの練習の成果を発揮してほしい」と激励しました。



全国大会の結果

入賞は果たせなかったものの、2人とも堂々と演舞しました。

道の駅でビアガーデン 7 19

道の駅ビアガーデンが7月19日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。当日は、天候が雨予報のため、多目的ホールを開放して実施され、仕事帰りの仲間や家族連れなど約500人が訪れました。来場者たちは、屋台で販売されたフライドポテトやたこ焼きなどをつまみに、ビールやチューハイを飲みながら会話を楽しんだほか、今年は、新しい企画として手持ち花火が用意されるなど、子どもから大人まで多くの人たちが、楽しい夏のひとときを過ごしました。



読み聞かせで楽しい時間 7 20

図書館ボランティアぶっくるによる子供たちへの読み聞かせ会「おはなしぶっくる一む」が7月20日、町図書館で開催されました。この企画は、今まで同図書館で開催していた「どうわかん」をリニューアルし今回が初開催。今後は、毎月第3土曜日に開催していきます。この日は、赤ちゃんから小学生とその保護者など21人が参加し、同ぶっくる会員の2人が赤ちゃん絵本や大型絵本など7冊の読み聞かせを行いました。参加した子供たちは、絵本を見ながら笑ったり、読み手の話し掛けに答えたりするなど、楽しい時間を過ごしました。



ドッジボール熱戦

8 5

第60回少年少女体育大会（町教育委員会主催）が8月5日、町体育館で開催されました。種目は7人制ドッジボールで、町内の小学校から5チーム42人が出場。各チーム総当りのリーグ戦で優勝を争いました。子供たちは、チームメートや応援に駆けつけた父母らの声援のもと、白熱した戦いを繰り広げました。成績は次のとおり。

1位＝勇足オールヒーローズ 2位＝勇足スカイファイヤーズ 3位＝やまとJAPAN



少年補導員 土蔵さんに功績者表彰

8 8

本別警察署少年補導員連絡協議会（五十嵐健二会長）の研修会が8月8日、本別警察署で開かれ、長年の活動の功績による釧路方面少年補導員連絡協議会会長と北海道警察釧路方面本部長からの功績者表彰伝達式が行われました。式では、受賞した同委員の土蔵啓一さん（北5丁目）に本別警察署中野浩一署長から表彰状と記念品が手渡されました。土蔵さんは、「ありがとうございます」と受賞への感謝の言葉を述べながら受け取りました。



100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

8 5

福田トミヨさん（美蘭別）が8月5日に100歳を迎えるにあたり、アメニティ帯広で大和田収副町長から敬老祝い金が贈呈されました。

トミヨさんは、大正8年に池田町高島でお生まれになり、20歳で故義夫さんと結婚し本別へ移住。農業に従事しながら4男2女のお子さんを育てられ、孫、ひ孫など合わせて30人に恵まれました。トミヨさんは、現在アメニティ帯広に入所され、趣味の手芸や仲間たちと会話をしながら楽しく生活されており、「いつの間にか100歳になっていてびっくりしている。とてもうれしい」と100歳の喜びを語りました。



あかげらキャンプ

7 31 8 1

あかげら少年団（町教育委員会主催）の前期プログラム第4回「夏休みキャンプ自然探偵団！」が7月31日から2日間、本別公園静山キャンプ場などで開催されました。今回のプログラムでは、団員など町内の小学生9人のほか、ボランティアとして本高校生1人が参加。テントを設営し、飯ごうでご飯を炊き夕食にカレーライスを食べ、夜はキャンプファイアを囲みゲームで楽しみました。また、森と川の会の会員の協力で本別公園の散策を行ったほか、本別川で魚釣りや川遊びを楽しみました。



児童生徒らが 陸上競技場を整備

8 3

本別陸上クラブ（我妻勇次会長）の呼び掛けで町内の児童、生徒らが8月3日、河川運動公園陸上競技場の環境整備ボランティアを実施しました。この日は、同クラブ会員のほか、本別高校や町内中学校陸上部員、本別陸上少年団員、その保護者など70人が集まりました。参加者たちは、トラックの石拾いや雑草の除去などをスコップやレーキを使って丁寧に作業を実施。陸上競技場のより良い練習環境が整いました。



赤十字「博愛号」が 配置されました

8 2

災害救援車「博愛号」が8月2日、日本赤十字社北海道支部から同社本別分区分（分区分長＝高橋正夫町長）に1台配置されました。これは、本町の赤十字社資の実績等が評価されたものであり、車両は地域における災害や事故など各種救援活動および赤十字事業、町の福祉事業等に役立てられます。社資にご協力いただいた町民の皆さんに、心より感謝申し上げます。



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128
日本年金機構のホームページ
<http://www.nenkn.go.jp/>

「わたしとみんなの年金ポータル」
URL [https://www.nhlw.go.jp/](https://www.nhlw.go.jp/nenkinportal/index.html)
[nenkinportal/index.html](https://www.nhlw.go.jp/nenkinportal/index.html)

年金について知りたいことがすぐに探せる



●年金ポータルのポイント（特徴）
・公的年金と私的年金について、関係機関のホームページを幅広くカバー
・趣味やトピックにあわせて知りたい情報にアクセスしやすい構成
・「水先案内人」が登場、皆さまを適切なホームページへと案内します

厚生労働省が開発した、年金について知りたいことがすぐに探せるポータルサイト「年金ポータル」のご案内です。
このサイトは、自分の年金について「ちょっと知りたい人」や「これから手続きする人」などが、自分のライフスタイルや日常生活のさまざまなシーンに合わせたテーマで、年金の情報を探ることができ、新しいポータルサイトです。検索した情報も専門用語をできるだけ使わずに、図やイラストによる解説でシンプルに説明しています。これまで厚生労働省や日本年金機構など、さまざまな関係機関のホームページで個別にお知らせしていた年金に関する情報をシンプルにまとめた「年金」の仕組みや手続き口として活用していただきます。



「利用ください」
『年金ポータル』を

その209

国民年金
コナナ

未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包ま
れてすくすく元気に育ってね！



仙美里元町
細田 泰 (琴代ママ)



柏木町
室 矢 誓 (雅子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

夏祭りで地域とのふれあい

陽だまりの里やアメニティ本別でそれぞれ夏祭りが開催され、盆踊りなどさまざまな催しで
地域や利用者、家族たちとのふれあいを楽しみました。

陽だまりの里 8/3



アメニティ本別 8/10



ご寄付ありがとうございます 令和元年7月16日から8月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上にて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★学校給食共同調理場指定

黒毛和牛ハンバーグ150g 320個
…………… 勇足西5 加藤 剛 司・加藤 寛 治

★老人ホーム指定

スイカ 6 玉
…………… 本別中央自治会連合会 会長 北 谷 和 雄

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

計 金 3,215,000円 …………… 250人

みんなの 健康

421

働きすぎいませんか？

1日11時間以上働く中年男性は、7〜9時間の標準的な勤務時間の人に比べて急性心筋梗塞を発症するリスクが1・6倍になるという大規模調査結果が国立がん研究センターと大阪大学の研究グループによって今年の3月に発表されました。この調査は1993年に40〜59歳だった男性約1万5000人の生活習慣や健康状態を約20年間追跡調査したもので、このうち212人が急性心筋梗塞を発症しました。また、同じ11時間労働でも経営者や営業の人には病気のリスクの上昇はなく、会社員だとリスクが2・1倍ともっとも高かったそうです。これについて、研究グループは「会社員は仕事の裁量権がないことでストレスがたまりやすいのではないかと分析しています。さて、この長時間労働により、心臓やその他の健康状態に影響が深いと思われるものに休養の時間が減ること、すなわち睡眠時間の短縮があげられます。睡眠は全身の疲労回復に重要であり、からだのさまざまな働きを修復する効果があるため、睡眠不足が続くと全身の回復力が低下してしまい感染しやすくなります。このほか、北海道では男女ともに高い喫煙率も影響し



健康管理センター
保健師
前 佛 友 子

抱えたストレスを上手に発散させるためには、ひとりで抱え込まずなるべく早く積極的な解決をはかることも大事です。ほっと相談もぜひ気軽に利用ください。長時間労働やストレスから大切な自分の健康を守ることは自分自身です。そして、身近な家族や友人が困っていたり、疲れている様子に気づいたときに、一歩かけてあげられることが大切です。皆さんも、ぜひ身近に働きすぎで疲れている人を見つけたら声を掛けてください。

ており、喫煙により、一時的に体内が酸欠状態になることで心臓はじめるような臓器を傷めていることにつながっています。9月10日から16日は自殺予防週間です。全国で毎年「誰も自殺においこまれない社会」の実現にむけて、さまざまな相談事業等を実施しています。本別町では、月1回、心理カウンセラーの相談を受けられる「こころのほっと相談」を開設しており、誰でも無料でご利用できます。これまでさまざまな年代の人にご利用いただきました。日々の生活でストレスを抱えることは誰にでもあります。

足寄町

2019オンネット物語

神秘的湖オンネットで、初秋のひとときを過ごしませんか。

口とき 9月29日(日)

午前10時〜午後2時

口ところ オンネット 国設野営場ほか

口内容 ★自然ふれあい教室
オンネットの散策路で森に親しむ教室です。
※当日も参加申し込み可

陸別町

ラリー北海道2019 「陸別ステージ」開催

国内唯一のラリー国際格式レース「ラリー北海道」が、今年も十勝を舞台に開催されます。陸別ステージは次の日程で行われます。ぜひご観戦ください。



口とき 9月21日(土)

1回目…午前8時28分〜

2回目…午前10時58分〜

口ところ イベント広場(陸別サーキット) (陸別町ウエーブ)

口料金 スタージ券
前売り 2000円
(当日 2800円)

口問い合わせ

陸別ラリーを成功させる会
(陸別町役場産業振興課内)
☎2712141 内線135



一足寄町・陸別町からー

- ① 雄阿寒岳登山コース
- ② オンネット 湖畔遊歩道コース
- ③ 湯の滝遊歩道コース
- ★ 森のキッズ&クラフトコーナー
- ★ 農産物の無料試食コーナー
- ★ フォトコンテスト作品展示および受賞者表彰式
- ★ オンネットコンサート
- ※ 無料送迎バス
あしより銀河ホール21北側駐車場
場発 午前8時30分
オンネット発 午後2時
- 口申し込みおよび問い合わせ
あしより観光協会
☎2516131

戸籍のまど

お誕生

7月後半から
8月前半の
届出分

佐藤 和^{なごみ} 佳孝^{けん} 順子^{のりこ} 7/26 勇足元町

久島 晴夏^{はるか} 昭彦^{あきひこ} 奈津子^{なつこ} 7/30 上本別

ご結婚

(佐藤 貴浩^{きこう} 錦町
前谷 美里^{みり} 錦町)

おくやみ

宮崎 クニ^{くに} 93歳 7/16 向陽町

佐々木 正治^{せいじ} 89歳 7/18 拓農

佐藤 良則^{りょうのり} 82歳 8/1 東町

瀬藤 朝次郎^{あさじろう} 90歳 8/3 清流町

笠原 厚^{あつ} 88歳 8/5 上押帯

笹森 茂美^{もみ} 80歳 8/6 西仙美里

鈴木 正寿^{せいじう} 84歳 8/7 美里別高東

上笹 郁子^{いくこ} 89歳 8/10 美里別西上

佐藤 キ^き 98歳 8/10 勇足元町

わたしたちのまち

前月比

人口 6,972人(-5)

男 3,422人(-4)

女 3,550人(-1)

世帯数 3,648戸(-2)

〔7月末日住民基本台帳〕

本のある暮らし

222

英語のおしゃべり 絵本で始めよう!

「英語が話せたらいいな～、でも苦手」という人、大人には多いのではないのでしょうか。

2020年度から小学校で英語が正式教科となりますが、楽しく身につけるのがいちばん! まずは家庭でも英語の絵本を楽しむところから、始めてみませんか?

英語を体感して、「身近なことば」にしてみましょう。

◆ 手にとってみて! この3冊 ◆

かわいい♪



Baby's Book FOOD

おかし、パンなどの「食べもの」を英語と日本語で紹介する布絵本。赤ちゃんも大好きなふわふわ優しい手ざわりです。

おもしろい♪



どうぶつ ABC えほん

人気絵本作家の降矢ななが描くユーモラスな動物が、たくさん単語とともに、アルファベット順に登場します。

いつかは♪



英語でもよめる はらぺこあおむし

世界中でおなじみの絵本です。英語と日本語それぞれのリズムと、美しい絵を楽しめたら、素敵ですね!

絵本コーナーには、他にもさまざまな英語絵本がありますので、気軽にお問い合わせください。「英語絵本の読み聞かせ入門講座」も始まります。ご利用をお待ちしています! (詳しくは、9月1日号くらしの情報紙「かけはし」をご覧ください)

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称: ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112